



飯嶋 正利 議員



マイナンバーを健康保険証として利用する場合の安全対策について

問 全国でも人的ミス等が出ており、法律の整備も追いついていないと感じる中、現在の状況を伺う。

答 マイナンバーについては紐付け等のミスの報道がかなりあったが、現在使用されている紙の被保険者証については、なりすまし等による不正利用の報告は受けていない。

学校給食の完全無償化について

問 無償化を実施している他の自治体で財政調整基金を切り崩しているところはない。他の財源を回したり、マイナスイーリング等で実施していると思う。また、旭市は給食費滞納者が少ないことから、給食に対して理解をいただいていると思う。であれば、食の宝庫だといわれる旭市で、全国に先駆けてカロリーベースではなく、見た目にも素晴らしい給食

を提供することも大事だと考える。

答 担当栄養教諭が子どもたちにおいしく食べてもらえるよう工夫を凝らして、給食を作っている。PRとしてフェイスブック等で給食を作っているところを写真つきでお知らせしている。



旭市フェイスブックより

新型コロナウイルス感染症について

問 ワクチン接種について、春開始接種の状況と秋以降も接種があると聞いているが、その準備について伺う。

答 春開始接種は5月8日から8月31日の期間で重症化リスクの高い方、医療従事者等を対象に実施。6月10日現在で65歳以上の予約済みが8066人で予約率42・5%、うち接種済みが1743人で接種率9・2%。秋接種については、初回接種が済んでいる5歳以上のすべての方が対象で、9月以降の実施を予定している。

学校教育の充実について

問 教員はどんなに時間外労働をしても残業代が支払われない代わりに給与月額4%がみ

ない手当として一律に支給されている(教職調整額)。そのため定額で働かせ放題となり、長時間の残業につながっていると思われる。教員の労働環境を改善しないと教員不足は解消しないと考えるが見解を伺う。

答 教職調整額については、現在文部科学省の中央審議会で諮問されていることから国の動向に注視していきたい。市としては働き方改革実行委員会を組織し、教育現場の声を聞くとともに、教育補助員の増員や校務のデジタル化等働き方改革に努めている。

問 定額で働かせ放題の制度がある限り労働環境の改善は難しいと思う。この声を国に届け

答 中央審議会では「教員の処遇改善」「働き方改革」「学校の

体制充実」について検討された。具体策がまとめられる予定になっているので、今後も国の動向を注視したい。

協働の促進について

問 寄付金や分担金等、区に加

答 区としては区の役割や活動を理解してもらえよう努力し、市としても分かりやすいパンフレットを作成する等、区の加入促進運動のサポートを継続していく。加入に結びつくことが不公平感の解消につながるものだと考える。

問 各種寄付金は大切なものだが区の運営が厳しい場合は寄付金額を減額しても仕方ないという認識でよいのか。

答 募金や寄付等は社会貢献活動の一つであり積極的に参加をお願いしたいが、任意なので区民の総意であれば減額も仕方ないと思う。

その他の質問事項

○消防組織体制の充実について
○漁港エリアの有効活用について



永井 孝佳 議員

